

平成29年度会員向け見学会・講演会開催

ダイキン工業（株）テクノロジー・イノベーション・センター（TIC）の見学と講演「ダイキン工業の知財強化の取り組み」

12月4日（月）、当協会会員向けサービス事業の一環として、会員限定・参加費無料にて行われる年に1度の恒例行事である企業見学会と講演会を開催いたしました。



今年度の見学先は、大阪府摂津市にあるダイキン工業（株）淀川製作所内にて2年前に開設されたテクノロジー・イノベーションセンター（TIC）です。TICでは異業種・異分野のユニークな技術を持つ企業・大学・研究機関との連携・提携による「協創」

を、グローバルレベルで実行していくため、国内3拠点（堺・滋賀・淀川製作所）に分散していた技術者を集約し、約700名体制で技術開発を推進している、最新鋭の協創イノベーション施設です。

当日は定員を遥かに超える48名の参加者が最寄り駅である JR 吹田駅へ集合し、2台の送迎バスを連ねて現地へ向かいました。現地到着後、まず今回の見学会開催にご尽力いただいた当協会理事・ダイキン工業（株）法務・コンプライアンス・知財センター知的財産グループ長 松本宗久氏のご挨拶の後、3グループに分かれてオフィス棟の施設内を見学いたしました。アロマの香りが漂うエントランスから、エアコンの部品の影が走る人を形作ったオブジェが迎える啓発館へ向かい、そこで創業者や企業の紹介ビデオや過去の技術や商品の歴史を網羅した展示を楽しみました。続いて、プロジェクター投影による情報発信の場として機能する踊り場を経由して3階へ移り、クライアントとの商談や知恵を出し合う「協創」のための3階のオープンスペース「知の森」、5階へ移り、技術者の執務スペースと吹き抜けの4階と5階の中間層に設置された社内の部門を超えた協創を実現するスペース、「ワイガヤステージ」、さらに6階の独創的な机や椅子が印象的なカジュアルなアイデア創出の場である「フューチャーラボ」など、様々な工夫を凝らした、新しい価値を創出する環境づくりがなされた施設を見学することができました。

見学後の松本グループ長の講演会では、「ダイキン工業の知財強化の取り組み」というテーマのもと、自社における特許の「質」の考え方や報奨制度等を活用した有効特許増強のための方策、特許事務所と企業・知的財産部門との役割分担、外国出願の強化に伴うグローバルな知財戦略を、事例をもとにわかりやすく説明していただきました。



様々な業種の参加者にとっても非常に有益なお話であり、参加者からは今回の見学会及び講演会は目からウロコが落ちました、との好評の声をいただきました。

今年度もご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。来年度も継続して企画していきますので、何卒ご期待下さいますよう、お願いいたします。